



No.49 2020.5.1

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

学びのテーマの発信を（探究的な学びに向けて）

学校の様子を知りたいなと思うと、各校のホームページは貴重な情報源です。臨時休業に入ってから、各校のホームページを見るのが日課になったのは私だけではないと思います。ホームページは今、学校のメッセージボードの役割を果たしているのだと思います。先日、ある学校のホームページの新型コロナウイルス関係というバナーをクリックすると「私たちの我慢は本当に効果があるの？～緊急事態宣言の中で～」という言葉が目飛び込んできました。

私たちの我慢は本当に効果があるの？

～ 緊急事態宣言の中で ～

そのほかたくさんの方の不安を抱えながら、感染拡大防止の為に協力してくださっている、保護者のみなさま本当にありがとうございます。市内でも多かった公園で遊ぶ子どもたちが少し減ってきているようにも感じています。今までの繰り返しになりますが、散歩やジョギングなどすべてを禁止するものではありませんが、友だちと群れて遊ぶ「鬼ごっこ」「野球」「サッカー」「ドッジボール」等は好ましくないとされています。

最近学校に入って来た情報

「本人は大丈夫ですが、家族に発熱が続いています。病院に相談すると『保健センターに行きなさい』と言われ、行くとPCR検査をすることになりました。結果は陰性でした。良かったです。」というものがありません。本当に良かったです。

そこで、教師の間でもシミュレーションをしてみました。

【家族が新型コロナウイルスに感染したら何をしないといけないか？】

20日現在の明石では10名の陽性判定が出ています。いつ自分に、自分の家族に感染者が出たとしても不思議ではありません。その時何をすべきか考えてみました。明石の9例目、10例目の方はまだ入院できていないと聞いています。そこで・・・

【命】

・何より、我が子が苦しみ出したらどう対処できるか。

(インフルエンザとは比べものにならないくらいにきつい症状と聞きます。何より 命の危険があります。苦しむ子どもに親は何をしてやれるのか。)

【他人への感染】

・自分や感染した家族が最近接触した人へはどう説明するか。

(いつまでさかのぼり、どのように話をするかはとても難しいです。)

・それが子どもで、一緒に遊んでいた子やその保護者にどのように話すか。

(感染していない家族の外出もできないのでは。)

【家族の生活】

- ・入院できないなら、どうやって家の中で「隔離」するか。
(家の中の動線、食事、トイレ、風呂等)
- ・入院できたとして、その子の心のケアはどうか。
(面会はできないときいています。寂しい思いをする我が子に対して、外出が禁止されている中で家族は何ができるのか。そしてそれは最低でも2週間以上も続きます。)
- ・家族の生活はどうすればよいか。
(もちろん学校へ出勤ができません。学校の児童にも与える影響…)
- ・食料の調達はどうすればよいか。

まだまだ、実際にその立場になれば、しなければならないことや、できないことがたくさんあると思います。そして、教師の家庭もそれぞれ条件が違うのでその家によって困ることが違うと再確認しました。

話は最初に戻りますが、そう考えるとやはり感染拡大をみんなで防がないと大変なことになります。不安が多い毎日ですが、この頑張りや、子どもたちの命を守り、日本のいや世界の為なることを信じみんなで力を合わせましょう。

こんな中、「我が家ではこのようなことをして今の辛い時期を乗り越えています。」というアイデアがありましたら、電話やFAX等でお知らせください。明るい話題もお願いします。

ここに書かれていることは、子どもも、大人も一人一人がワガゴトとして考えてみる必要があるものばかりです。大変なことは頭ではわかっている、何かワガゴト化できない自分がありました。岡江久美子さんの報道後、ここに書かれているようなことが自然と話題になりました。その中で「生と死」に直面しているという感覚や、最前線で懸命に治療にあたり、そうした治療を支える医療従事者のみなさんのことなども話題になりながら、テレビやネットに流れる報道をみるだけではワガゴト化できなかったことが、対話することによってワガゴト化できたような気がします。

こうした対話は各家庭でもされているのではと思います。答えのないことですが、身近なところで対話したことを広げ交流できると目指すゴールをたくさんの人で共有できるのではと思います。今こそ、そうした対話の交流の拠点となるのが学校の役割だと考えます。対話されたことをどのように交流していくかという方法は知恵を出し合っていかなければいけません。臨時休業が延長になった今、「読み・書き・計算」的な学びだけでなく、子どもも大人も共に学び続ける「探求」的な学びをデザインしていくことが求められているのだと思います。

学びをどうデザインしていくか知恵を出し合うことは、社会に開かれた学校＝コミュニティ・スクールづくりにつながっていくのだと思います。

Zoom の使い方を Zoom で 慣れが必要だなと・・・



29日に開かれたコミ創主催の ZOOM 体験会に参加させていただきました。参加者の必要感が伝わってきました。そして、Web 会議システムが入ってきたとき、使い方を保護者、子どもたちに説明するのシステムを使いながらの説明になるんだろうなと思いました。心の準備

ウィズあかし 緊急企画
LET'S TRY
まずはオンライン会議を体験してみよう!
4/22 (水) ZOOM体験DAY
 ①13:30～、②14:30～、③15:30～
 こんなことができるようになりますよ
 ・オンラインミーティング
 ・情報の共有・仲間とのつながり
 準備するもの
 ・パソコン(カメラ付き) かスマートフォン
 ・Wi-Fi環境
 運営：一般財団法人明石コミュニティ創造協会 TEL 078-918-5600

が必要ですね。毎週水曜日に開催予定です。参加して体験だけでもされてもいいのかなと思います。一度、明石コミュニティ創造協会へお問い合わせさせてみてはいかがでしょうか。

そんなZOOM体験会

を企画したコミュニティ創造協会さんがまたまた緊急企画です。まちづくりをすすめるにあたって大切な対話ができない中で電話・メールだけでなくオンライン面談相談で新たな道を見つけようというチャレンジがはじまりました。今はいいなと思ったら、動くことが必要なんだなと感じます。

新型コロナウイルス感染症対策緊急企画！
校区まちづくり組織/自治会・町内会
の運営でお困りの皆さまへ
 書面総会の開催方法、各種会議の方法、今年度の活動に関することなどご相談のります！
 総会の開催
 どうすればいいの？
 「三密」を避けながら
 役員会開催できない？
 書面での総会開催して
 どんな手順でやるの？
 現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、自治会・町内会などの様々な地域での活動が制限されています。
 各の自治会での差別化や、書面での決議の方法、オンラインでの会議方法や各種GISを使い方など、各種ご相談に応じます。ぜひお気軽にご相談ください。
おでんわ
078-918-5248
メール
sozo@akashi135.jp
 一般財団法人 明石コミュニティ創造協会
 〒673-0886 兵庫県明石市東山ノ町15-1号
 アスピア明石北館7Fウィズあかし階
 TEL 078-918-5248 FAX 078-918-5157

こんな取組も カブトに願いをこめて



播陽幼稚園の前の道を歩いていると、幼稚園の正門の前に何か置いてあるなと思い、近づいてみると心の余裕もなく忘れていた「もう5月！こどもの日！端午の節句！」がよみがえりました。

ホワイトボードには
 「♡地域の皆さまへ♡
 ♡子供達の健やかな成長と新型コロナウイルス感染症の終息を願って『かぶと』を飾りませんか。
 ♡ご自由にお持ち帰り下さい。
 ♡ビニール袋を（はめて）折りまして、ご安心ください。
 ……」

きっとこれを見られた地域の方や保護者方、そしてこの道を通っただけの方も幼稚園の先生方のメッセージは届いていると思います。

このような状況のなかでも、地域のみなさんとつながっていく方法があるんだなと考えさせられました。

ちょっとしたアイデアですが、あったか

い気持ちをいただけました。

(文責:北本)